

学校だより

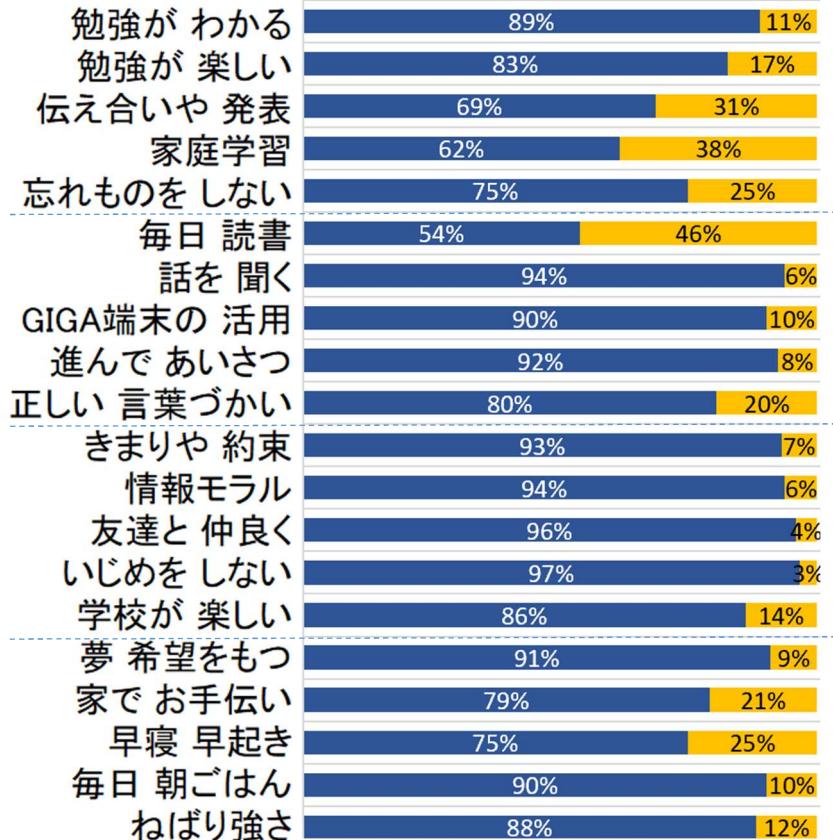
令和7年9月29日 特別版
京都市立向島小学校
校長 鎌田 真行



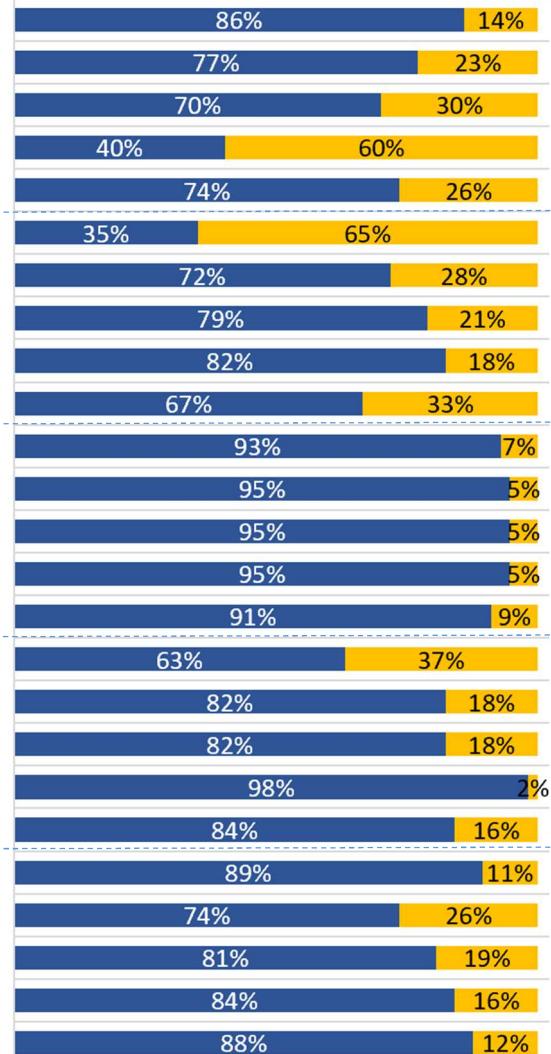
前期学校評価結果の考察



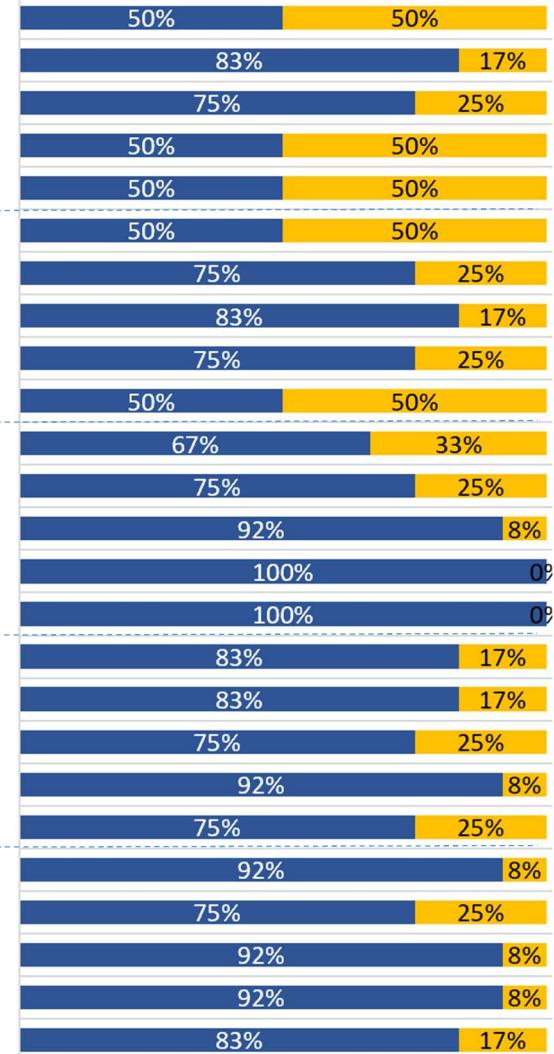
児童



保護者



教職員



グラフは学校評価（4段階）の

・「よくできている」、「だいたいできている」の合計（左側）

・「あまりできていない」、「できていない」の合計（右側）

- | | |
|------------|------------|
| ・よくできている | ・あまりできていない |
| ・だいたいできている | ・できていない |

人権を大切にした教育
教育方針を知る
学校の様子を知る
気軽に質問や相談
学校行事への参加

平素は、本校教育にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、1学期末に回答いただいた「学校評価アンケート（前期）」につきまして、集計と確認が終わりましたので結果をご報告させていただきます。お忙しいところ、多くの方にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

また、アンケートについての考察を以下のとおりまとめさせていただきました。併せて、ご確認いただきますよう宜しくお願ひ申し上げます。

成果と課題

考 察



学校で楽しく過ごすために 【きまりや約束】【友達と仲良く】【いじめをしない】【学校が楽しい】

本校が実施するアンケートにて、いつも児童・保護者・教職員の三者で肯定的な回答が多い4つの質問です。この中で、このところ気になるのは【きまりや約束】です。教職員のアンケート結果の通り、最近、学校に必要のない装飾品や持ち物について、指導することが増えてきています。子どもたちの個性を大切にしたい思いはありますが、学校生活の中で「規範意識」を育むことも大事なことです。

アンケートの結果だけを見れば、児童の捉え方と教職員の捉え方にも違いが見られます。【情報モラル】についても、「できている」と思っている一方で我々教職員は、児童のインターネットの使い方にとても心配しています。「規範（モラル）」が乱れた場では、一人一人の子どもが安心して過ごすことができません。ぜひとも、改めて子どもたちの身だしなみや持ち物、行動に目を向けていただき、子どもと一緒に考えていくような機会をもっていただけると大変有難いです。学校も、子どもたちと向き合って、きまりやルールの必要性を理解できるように伝えていきたいと思います。

家庭学習の習慣化 【家庭学習】

『家庭学習』の質問項目で、児童と保護者で「できていない」「あまりできていない」の回答が前回に引き続いで半数を超えていました。『勉強がわかる』『勉強が楽しい』の質問項目はそれほど低くないものの、『家庭学習』につなげられないのが本校の課題です。今回、ipadの全校導入がありましたので、教室以外でもできることは多くなっています。教室でのまなびから、その先を見据えて我々教員も日々の授業を見直していきたいです。

子どもの生活リズム 【毎日 朝ごはん】【早寝 早起き】

【毎日 朝ごはん】が、保護者の回答で100%に非常に近い値となりました。忙しい毎日の中で、子どもたちに欠かさず朝食を用意するのも大変なことです。ありがとうございます。子どもたちが元気に学校生活を送ることができるもの、保護者の皆様の支えがあつてこそです。今後とも、学校と保護者が連携しながら、子どもの成長を支えていければと思います。引き続き、どうぞよろしくお願ひします。